

## 第 28 回クラシックを楽しむ会

2015 年 12 月 13 日（日）18:00～（2 時間 19 分、休憩除く）

### 歌劇「夢遊病の女」(ベルリーニ)

会場等：オペラ・バスチーユ（フランス・パリ）  
（2010 年 2 月 12 日、15 日）

楽団等：パリ・オペラ座管弦楽団、同合唱団

指揮：エヴェリーノ・ピド

演出等：マルコ・アルトゥーロ・マレッリ

出演：ナタリー・デセイ（ドゥセ） アミーナ  
ハビエル・カマレナ エルヴィーノ  
マリー・アドリーヌ・アンリ リーザ  
ミケーレ・ペルトウージ ロドルフォ伯爵  
コルネリア・オンチョユ テレーザ  
ナウエル・ディ・ピエロ アレッシオ  
その他



フィナーレ、貞操の疑いが晴れて喜びを歌うアミーナ



ナタリー・デセイ(手前)とハビエル・カマレナ

### ものがたり

金持ちの地主エルヴィーノと水車小屋の娘アミーナが結婚することになるが、アミーナは夢遊病で、女主人リーザの宿屋のロドルフォ伯爵が泊まっている部屋に迷い込んで寝てしまう。エルヴィーノはアミーナが伯爵と浮気したと誤解し、結婚を破棄してリーザと結婚すると宣言する。そこにアミーナが眠ったまま現れ、エルヴィーノへの愛を告白したことで、全ての誤解が解けてハッピーエンドとなる。

### オペラ・バスチーユ

パリ国立オペラの公演会場の一つ。フランス革命 200 年記念として、パリ 12 区の革命発端の地バスチーユ広場の西側バスチーユ駅跡地に建設し 1989 年に落成。地上 7 階地下 6 階建て、座席数 2703。外観、設備とも現代建築の粋を集め、世界最大の 9 面舞台を持ち、上演中でも他の演目のリハーサルが可能。

なお、パリ 9 区の有名なガルニエ宮を旧オペラ座、オペラ・バスチーユを新オペラ座と呼ぶことがあるが、ガルニエ宮でもオペラを上演している。単にオペラ座またはパリ・オペラ座と呼ぶときはガルニエ宮（ナポレオン三世の第二帝政時代にシャルル・ガルニエが設計した建物）を指す。



パリ 12 区、オペラ・バスチーユの夜景

### 第 29 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」(グルック)

1 月 17 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

オペラ史上に輝くバロックの名作歌劇。チェコのクルムロフ城内劇場 2013 年の公演。オーケストラ団員も当時のかつら姿で演奏する豪華な雰囲気をお楽しみに。

2 月はお休み。3 月以降はヴェルディの名作「ドン・カルロ」等を予定。

# あらすじ

## 【時と場所など】

19世紀初頭のスイスの山村

## 【登場人物】

アミーナ	水車小屋の娘、夢遊病者
エルヴィーノ	地主の青年、アミーナの婚約者
リーザ	宿屋の女主人、エルヴィーノに片思いしている
ロドルフォ伯爵	見知らぬ旅人。実は亡くなった領主の息子
テレーザ	アミーナの養母
アレッシオ	村の農夫。リーザにつきまとう

## 【第1幕】

### 第1場 村の広場

水車小屋の娘アミーナと地主の青年エルヴィーノの婚約式。エルヴィーノに片思いしている宿屋の女主人リーザは面白くない。孤児だったアミーナは、養母テレーザや村人たちに感謝してアリア「**何と爽やかな日**」を歌う。エルヴィーノが公証人を連れて来て2人は指輪を取り交わし二重唱「**この指輪を受けて下さい**」を歌う。そこへ、旅人の紳士が現れるが、村人たちは彼が亡き領主の息子、ロドルフォ伯爵だと気づかない。伯爵は花嫁の美しさを褒め、嬉しがる彼女にエルヴィーノは穏やかではない。

夜になると幽霊が出ると言いながら帰ろうとする村人たちの話に、伯爵は興味をそそられ、リーザの宿屋に泊まる事にする。皆が去った後、エルヴィーノは伯爵に対する嫉妬心からアミーナを責めるが、すぐ仲直りして甘美な二重唱「**そよ風にも嫉妬を感じ**」を歌う。

### 第2場 リーザの宿屋の一室

伯爵が寝室でくつろいでいる。入ってきたリーザが伯爵と仲良くしているところに、突然物音が聞こえ、リーザはあわてて隠れるがスカーフを落とす。純白のガウン姿のアミーナが夢遊病者となって現れる。伯爵はこれが幽霊の正体だったと見抜き、彼女がソファで眠ってしまうのを見て、彼女を驚かさないうちに部屋を出て行く。一部始終を見ていたリーザはエルヴィーノに告げに行く。アミーナは相変わらず眠ったまま。伯爵がこの国の領主だと知った村人達が挨拶に訪れるが、伯爵はおらずアミーナが寝ているので皆は帰ろうとする。そこにリーザがエルヴィーノとアミーナの養母テレーザを連れて来る。エルヴィーノは伯爵の寝室でアミーナが眠っているのを見て驚く。アミーナは物音で目覚めるが、激しく怒るエルヴィーノに、何故ここにいるのか説明できず、ついに気を失ってしまう。一人リーザがほくそえむ。

## 【第2幕】

### 第1場 城へ行く森の道

村人たちが伯爵にアミーナの潔白を証明してもらうため城への道を急ぐ。アミーナはエルヴィーノに無実を訴え、帰ってきた村人たちも伯爵が無実を証明したと知らせるが、嫉妬に狂ったエルヴィーノはアミーナから指輪をもぎ取り絶望して立ち去る。

### 第2場 水車小屋の前の広場

エルヴィーノはリーザと結婚することに決め、リーザは言い寄るアレッシオを冷たくあしらう。村人たちはリーザを祝いに集まり、エルヴィーノの求婚にリーザは有頂天。そこへ伯爵が現れて、アミーナが夢遊病であることを説明するが一同は信じない。教会に行こうとするエルヴィーノとリーザに、テレーザは伯爵の部屋でみつけた証拠のハンカチを取り出してリーザの浮気を非難する。エルヴィーノはリーザも又裏切り者だったのかと嘆く。そのときアミーナが水車小屋から現れ、眠ったまま有名なアリア「**ああ、信じられない**」を歌いだす。一同には伯爵の言葉が信じられ、エルヴィーノは後悔し、アミーナも目覚めて幸せが戻ったことを知り、アリアの後半「**思いもよらないこの喜び**」を歌う。一同は二人の幸福を祝い、幕となる。

# 参考資料

## 夢遊病について

専門的には**睡眠時遊行症**と呼ばれている。睡眠中、発作的に無意識の状態でききだし、歩いたり何かをした後に再び就眠するが、その間の出来事を記憶していない状態を指す。就眠後1時間から3時間のノンレム睡眠時に発生することが多い。

疲れていたり、昼間に猛烈なストレスを体験した場合に多くみられる。大人の場合は危険を伴うことがあり、治療が必要である。子供の場合、ぐっすり寝込んでいるときに無理やり起こした場合に発症することがあるが、思春期が終わるころには自然に治るといわれている。

## 絶対的な音の高さ、音名

特にテノール歌手の最高音について「ハイC」とか「3点ハ」などと記載されていることがあるので、参考資料にまとめた。

洗足オンラインスクールのページから(日本式表記)注1

ソプラノの絶対音域 (楽譜は1オクターブ低く表記)  
テノールの絶対音域

注2: 8va (オクターブ上), 8va (オクターブ下)

ピアノ中央の「ド」  
ハイC 注3

下2点 下1点 ひらがな カタカナ 1点 2点 3点 4点  
(大字) (小字)

ピアノのほぼ中央の「ド」を「1点ハ (いってんハ)」呼びます。バス記号、下第3線の「ラ」を「下1点イ (したいってんい)」呼びます。「嬰」「変」なども利用し、「3点嬰ト」のように、絶対的な音の高さを表すことができます。参考までに、ピアノの音域は下2点い～5点ハまでとなります。

注1. 最近では上図の**日本式表記**ではなく**国際式表記**の使用が広がっている。音名「ハニホヘトイロ」と「点」の数ではなく、英米式音名 CDEFGAB とオクターブ番号 012345678 とで表す。上図の最低音「下2点は」はC0、ピアノ中央の「ド」である「1点ハ」はC4、ハイCの「3点ハ」はC6、最高音の「4点ロ」はB7である。なお、88鍵盤のピアノの音域はA0からC8である。

注2. ”8va” (「オクターヴァ」と読む) が音符の上に付いているときは「1オクターブ上」、下になっているときは「1オクターブ下」を意味する。

注3. オペラでハイCと呼ぶときは通常テノールの音高を指す。なお、ソプラノはテノールの1オクターブ上の音高だが楽譜は1オクターブ下げて (テノールと同じト音記号で) 表記する。

## ハビエル・カマレナについて

1976年メキシコ生まれのテノール歌手。2014年4月にメトロポリタンの「ラ・チェネレントラ」(ロッシーニ)公演で、フローレスの代役で出演してハイCの1音上のハイDを出して総立ちの大喝采、もう一度同じアリアを歌った。長いメトロポリタンの歴史でアリア・アンコールの偉業は歴代3人目。なお、一人目はルチアーノ・パヴァロッティが出した高音がキング・オブ・ハイCと呼ばれて有名に、二人目は2008年にデセイと共演したペルー出身のファン・ディエゴ・フローレス。いずれも「連隊の娘」のトニオ役、アリア「友よ、今日は何と楽しい日」である。



ハビエル・カマレナ